

社長メッセージ

2023年8月3日（木）

■桂経営塾塾生第3号案件『健一自然農園』基本合意書締結

皆様、おはようございます。

桂経営塾塾生第3号案件として、知る人ぞ知る『健一自然農園』と基本合意書を締結いたしました。『無印良品』やファッションブランド『URBAN RESEARCH』の各店舗でも取り扱われていますし、ファッション雑誌『SPUR 8月号』にも掲載されましたので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。

『健一自然農園』は、茶師である伊川健一代表が、2001年に何年も放棄された農地を借り、ほぼ一人で整地したところからスタートしました。健一自然農園は、「自然栽培」にこだわっています。「自然栽培」とは、一切の農薬・肥料を用いず、自然の仕組みに沿って、健やかな恵みを楽しみながら美しい土壌と環境を繋いでいく調和の栽培法のことです。健一自然農園の説明によれば、「当園の茶畑には、虫や鳥が遊びに来て、様々な草花ものびのびしています。この光景は当然であって然るべきなのですが、日本の多くの農園は他生物が寄り付きません。一人でも多くの方に私たちのお茶を「美味しい」と感じて飲み続けていただくことが、自然環境の回復と保全、そして人々の心身の健康に繋がると信じて、農園の経営をしております」とのことです。自然栽培にこだわったお茶は、本当に美味しいと思います。私は、今年の年初から健一自然農園の『三年番茶』を毎朝飲んでいました。そのおかげなのだと思います。毎日、メチャメチャ体調が良く、二日酔いがありません。皆様も、是非、一度、試してみてください。

健一自然農園と、当社は、どういう取組をするのかと言いますと、桂経営塾塾生第2号案件としてお伝えした『大三萬年堂×HANARE』と同じような地方創生取組として、大和国・大和高原での『日本茶カフェ城下町構想』の中心となる存在として、お力をお借り致します。健一自然農園の『お茶』は、奥がとても深いです。この『お茶』の魅力を、また改めて、お伝えできればと考えております。インバウンド専門旅行会社の方に伺ったのですが、欧米系のインバウンドの方々には、ゆったりとした気持ちで、夕日を見ながら、ゆっくりと時間を過ごすことに幸せを感じる方が多くいらっしゃるそうです。その観点から、兵庫県たつの市や大和高原を選定しています。夕日を眺めながら、大三萬年堂のお菓子を食べて、健一自然農園のお茶を飲む・・・幸せな気持ちを、欧米系インバウンドの方々だけでなく、日本の方々にも味わって頂きたいと思います。具体的な取組が始まりましたら、皆様に、改めて、お伝えいたします。



大和高原「健一自然農園」

■ 「エンジン／SUN Digital Transformation④」

昨日は、SUN Digital Transformation に DX サービス業務のご依頼を頂いた大手士業様のヒアリングをさせて頂きました。優秀な士業の先生方が、膨大な単純な事務作業（手入力作業）に追われてしまっていて、本来のクライアントから求められている提案業務が出来ない状況に陥ってしまっている、という切実なお悩みを伺いました。このお悩みは、SUN Digital Transformation にて解決出来ますし、この士業の先生方の業界全体の課題を解決出来ることも理解出来ましたので、更にアクセルを踏んで行きたいと思います。具体的事例として、発表出来れば、より多くのこの業界の士業の方々のお悩みを解決することが出来ることは確信致しましたので、なるべく早く、発表出来るようにしたいと思います。

代表取締役社長 前田 健 晴